

高島地域 農業・農村の概要

★農業・農村振興の基本方針

2025.04 滋賀県高島農業農村振興事務所

農業農村振興事務所は「滋賀県農業・水産業基本計画」の基本理念である『県民みんなで創る滋賀の「食と農」を通じた「幸せ」』に基づき、「人の視点」「経済の視点」「社会の視点」「環境の視点」から施策を展開してまいります。

具体的には、①担い手の育成と経営力の強化、②産地の育成と販売力の強化、③持続可能で魅力ある農業・農村の振興を柱に、農業者に直接接して技術経営支援、補助事業活用による生産条件改善や生産基盤の整備等に実施してまいります。

◆データで見る『高島の農業・農村』

・農業産出額	61.6 億円	(R5)
・経営耕地面積	3,460 ha	(農林業センサス2020)
・農業経営体数	1,376 経営体	(")
・認定農業者	275 経営体	(R6)
・集落営農組織	34 組織	(R5)
・サービス事業体	1 事業体	(R6)
・担い手集積率	61.7 %	(R5)
・圃場整備率	86.7 %	(R6)
・農業水利施設	用排水路 580km	・基幹施設 45か所 (R6)
・世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策	農地維持・資源向上	
	5組織 106集落	3,528 ha (R6)
・中山間直接支払交付面積	628.4ha	(R6)
・魚のゆりかご水田米認証面積	14.3ha	(R6)
・環境こだわり農産物認証 (水稲)	1,010ha	(R6)



普通作物

水稻	2,880 ha	(R6)
麦	204 ha	(R6)
大豆	195 ha	(R5)

野菜 (R5)

赤かぶ	4.1 ha	78.2 t
まくわ	3.7 ha	18.9 t
だいこん	11.2 ha	398.2 t

果樹 (R6)

かき	21.0 ha	120 t
くり	46.0 ha	10.4 t
オリーブ	5.3 ha	0.08 t
ぶどう	2.6 ha	15.3 t
いちじく	1.8 ha	10.4 t

畜産 (R5.2.1)

乳用牛	3戸	420頭
肉用牛	8戸	4,309頭
採卵鶏	3戸	19,650羽



担い手の育成と経営力の強化



◆担い手の効率的な農業経営の実現に向けて

農業者の所得の向上、経営の改善等に向けて、麦作の推進やスマート農機の活用、地域計画推進における農地集約に向けた話し合いなどを支援します。



麦作の推進



ドローンによる追肥研修会



農地集約に向けた話し合いの場の設定

◆持続できる集落営農等の仕組みづくり

現在、高島地域には34の集落営農組織があります。多くの組織が次世代への継承に不安を抱えている状況にあります。このため、各組織が目指す将来方向に向けて、集落や組織内での話し合いを進めるとともに、実践に向けた取組を支援します。



集落営農の法人化に向けた支援



女性が担い手として集落営農を支える先進地視察の実施



高収益作物ブロッコリーの集落営農への導入支援

◆新規就農者の確保・育成

就農を希望される方から就農初期段階の方に対し、集合または個別の相談、栽培研修、巡回指導等を行っています。また意欲ある若手農業者で構成される青年農業者クラブの活動を支援しています。



青年農業者PJ発表会の支援



新規就農者への個別指導



新規就農者等を含めた県育成品種のいちご「みおしずく」の産地化推進

産地の育成と販売力の強化



◆特色ある近江米の産地づくり

近江米のさらなる食味向上のため、実証ほを設け美味しい米づくりを推進しています。品種は「みずかがみ」、「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「ハナエチゼン」、「秋の詩」などで、約8割を占めています。

さらにはR6年度から本格生産となる県育成の新品種「きらみずき」については、殺菌殺虫剤を使用しない栽培方法に限定していることから、生産安定に向けた技術支援を行います。

また、みどりの食料戦略に基づき、有機栽培米の生産拡大を推進しています。



食味ランキング「特A」獲得に向け関係機関と連携し実証ほを設置



近江米新品種「きらみずき」研修会の開催



有機栽培に向けた乗用型水田除草機の実演会

◆多様な園芸作物産地の育成

野菜、果樹、茶、花き等の安定生産とともに、新規栽培者の確保・育成により特色ある園芸作物産地として、生産出荷の継続・拡大が図られるよう、農業者、JAの生産者部会等の取組を支援します。



オリーブ栽培研修会



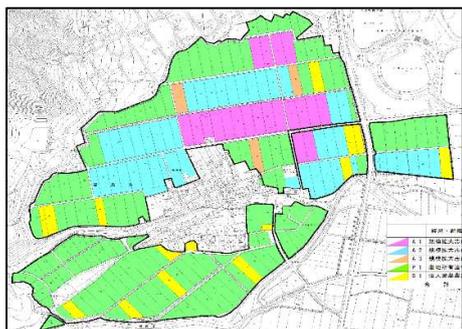
高島特産マクワの現地研修会



農業センター園芸塾ブドウコースの開催

◆農地の利用条件整備や水路の整備更新で効率的な農業経営

担い手への農地の利用集積・集約を推進し、生産効率の向上や高収益作物の導入拡大等が可能な農業基盤を整備することで、大規模で安定した農業経営の実現を支援します。



梅原地区 令和10年の集積集約計画図



水はけの悪い水田を乾田化



老朽化した水路を改修

◆農山村滞在体験から関係人口の創出・移住者の増加を図る

空き家や農家民宿などを活用し、次世代を担う学生や働き盛りの世代を対象に農村地域に滞在する体験を提供します。関係人口を生み出し、リモートワークを活用した都心部との二拠点居住・定住にも取組み、移住・定住する人の増加につなげます。



在原地域みなさんと学生の交流会
農山村版ワーキングホリデー 在原地区



稲刈体験の様子



炭焼き体験
朽木雲洞谷地区

◆農村地域の防災・減災対策の推進

治水上危険がある農業用河川工作物の改修を実施することで河床流出等による災害を未然に防止します。

耐震性の向上や老朽化したため池を改修し、決壊による災害を防止することで、地域住民の暮らしの安全と農業用水の安定供給を確保します。



大雨により旧農業用水取水堰が崩壊（施工前）



落差工 4 基（施工中）



淡海地区ため池耐震化事業
堤体改修工事中の状況

◆農業用水路等の整備を図り農業基盤を支える

現施設を有効に活用していくため、機能保全計画に基づき補修・補強、更新の対策を効果的に実施し、農業用水の安定供給を図ります。



老朽化した用水路
（施工前）



コンクリートで内面ライニング
（施工後）

完成し満水状態の淡海湖